

第4章 5県の広域連携  
・5県の連携の事例

| 県名  | 事業名                         | 内容  | 構成(5県関係)                  |
|-----|-----------------------------|---|---------------------------|
| 福島県 | 21世紀FIT構想                   | 3県が協力し関係市町村、地域住民等の連携の下、広域的な地域づくりを行う。  | 茨城・栃木                     |
|     | 尾瀬子どもサミット                   | 尾瀬を通して環境問題に対する認識を深め、新しい自然観を育成するとともに、子どもたちの交流やふれあいを図る。共催による環境体験学習事業の実施など。  | 群馬・新潟                     |
|     | 山形・新潟県際地域での交流               | 山形・新潟両県との協力の下、関係市町村、地域住民等の連携を促進し、歴史・文化や自然環境など多様な地域資源を生かした個性的な魅力を首都圏等に共同でアピールする広域的な地域づくり。  | 新潟・(山形)                   |
|     | 磐越自動車道を活用した広域的な地域づくり        | 会津縦貫北・南道路、福島空港・あぶくま南道路(あぶくま高原道路)の整備など沿線周辺地域からのアクセス向上を図るとともに、広域観光や学術・産業の連携など広域的な交流・連携を図る。  | 新潟                        |
|     | 流域連携による地域づくり                | 河川流域での観光・レクリエーションの振興を図るとともに、上下流域の住民が連携した水質保全のための取組み。流域住民によるネットワーク化や源流域でのもり森林づくり等を支援し、循環の理念に基づいた地域づくりを進める  | 茨城・新潟                     |
|     | 東北インテリジェントコスモス構想            | 東北地方において、産・学・官が連携し学術・技術・情報機能の集積と高度化を進め、各地域に集積されたこれらの機能のネットワーク化を図ることによって、東北が一体となった自立的未来型産業社会を形成し、東北を21世紀における日本の頭脳と産業開発の国際拠点とすることをめざす。              | 新潟・(東北ほか)                 |
|     | 北海道・東北21世紀構想<br>(ほくとう銀河プラン) | 北海道・東北地方がその特性を生かしながら、一体となって、交通・情報等の基盤整備、多様な交流圏の形成、自然と共生した空間づくりなどをめざす「ほくとう銀河プラン」を推進し、新しい国土軸の形成を図ることにより、国土の均衡ある発展、多極分散型国土の形成、さらには、真に豊かな地域社会の形成をめざす。 | 新潟<br>(北海道・東北ほか)          |
|     | 二ホンザル等の生息調査の検討              | 二ホンザルの生息調査  | 新潟・(山形)                   |
|     | 酸性雨の調査研究                    | 酸性雨の調査研究  | 北海道・東北                    |
|     | 三県公設試験研究機関の共同研究             | 三県の公設施設研究機関による共同研究開発など  | 新潟・(山形)                   |
| 茨城県 | 21世紀FIT構想                   | (再)   | 福島・栃木                     |
|     | 広域連携物流特区                    | 常陸那珂港を中心とする港湾区域と北関東沿線地域等に国際物流特区を設定し、茨城・栃木・群馬の3県が共同で物流拠点の形成とネットワーク化を促進することにより、首都圏における新たな国際物流拠点の形成を図る。  | 栃木・群馬                     |
| 栃木県 | 両毛広域都市圏構想                   | 両毛5市を中心に県境を越えた公共施設の相互利用など密接な行政連携を行う。  | 群馬                        |
|     | 21世紀FIT構想                   | (再)   | 福島・茨城                     |
|     | 広域連携物流特区                    | (再)   | 茨城・群馬                     |
| 群馬県 | 外国人観光誘客のための共同宣伝事業           | 国土交通省が推進するビジット・ジャパン・キャンペーンと連携しながら中国、台湾をターゲットとした積極的な誘客宣伝活動を展開  | 新潟・(長野)                   |
|     | 広域連携物流特区                    | (再)   | 茨城・栃木                     |
|     | 両毛広域都市圏構想                   | (再)   | 栃木                        |
|     | 尾瀬子どもサミット                   | (再)   | 福島・新潟                     |
| 新潟県 | 阿賀野川流域連携事業                  | 圏域の豊かな自然と日々の暮らしの中で阿賀野川を軸として、流域の新潟都市圏、更には会津地方との交流・連携により、人・もの情報が行き交う地域を目指す  | 福島                        |
|     | 尾瀬子どもサミット                   | (再)   | 福島・群馬                     |
|     | 外国人観光誘客のための共同宣伝事業           | (再)   | 群馬・(長野)                   |
|     | 二ホンザル等の生息調査の検討              | (再)   | 福島・(山形)                   |
|     | 酸性雨の調査研究                    | (再)   | 福島・(山形)                   |
|     | 職員人事交流                      | 職員間の人事交流の実施   | 福島・群馬                     |
| 参考  | 北関東・新潟地域連携軸構想               | 北関東及び新潟地域の国道・鉄道網沿線の市町村が加入し、地域連携フェスティバルの開催などにより、広域的な地域相互の物的・人的資源の交流を展開する   | 茨城・栃木・群馬・新潟               |
|     | 関東大環状連携軸構想                  | 交通・通信基盤の整備などを通じて、東京圏を環状に取り囲む北関東甲信越静地域に広域交流圏を形成する方策を検討   | 茨城・栃木・群馬・新潟<br>(山梨・長野・静岡) |
|     | 首都圏北部地域<br>産業活性化推進ネットワーク    | 首都圏北部地域において、産学官の各事業の緊密で広域的な連携の下で、中堅・中小企業の製品開発の市場拡大等により、新規産業創造を図り地域を新規産業の基盤として発展させ、経済の活性化に寄与する   | 栃木・群馬                     |

## ・他県での連携の事例

### 北東北広域連携構想

青森、岩手、秋田の三県からなる「北東北」は、自然、文化、歴史、産業などの多様で個性豊かな地域資源に恵まれ、地理的にも環太平洋地域と環日本海地域、本州と北海道・北方地域の結接点に位置するなど、21世紀の日本を先導する可能性あふれる地域である。本構想は、このような「北東北」の立地条件等を生かし、21世紀における新たな社会経済の創造に向け、交流・連携を通じて、地域が有する可能性を互恵的に、かつ、最大限に生かしながら、「元気のある」地域づくりを進めることを目的に策定した。したがって、本構想は、NPO（民間非営利団体）や企業、市町村をはじめ、広く三県の県民に交流・連携をその主役として担ってもらいたいと呼びかけ、それが「北東北」全体の活力につながっていくことをめざすものである

### 南とうほくSUNプラン

21世紀を迎え、世界は今、地球規模での歴史的な転換期に、我が国には、その経済力や技術力にふさわしい国際貢献が求められています。しかし、国内では、東京圏への一極集中、地方での人口の減少や高齢化の進展など、国土の均衡ある発展を図っていく上で解決すべき問題が山積みしている。これらの課題を克服し、世界とともに歩む我が国の持続的な発展を実現していくためには、これまでの偏りのある国土構造を是正し、地域の主体性を強化した広域的な経済圏や交流ネットワークの形成などに取り組むことが必要になっている。このような状況を踏まえ、「南とうほくSUNプラン」では、仙台、山形、福島 の3県都を中心とした南東北地域において、3県都の近接性、豊かな自然や土地資源、先端技術産業を始めとした諸機能の集積等の特性・資源を十分に活用し、“ほくとう日本”全体の発展を先導する中枢拠点を形成することを目指している。

### ほくとう銀河プラン

地球社会と共存する本地域の将来ビジョンを描くとともに、その実現を通じて国土の均衡ある発展はもとより、わが国全体の成長を支え、世界の発展にも資するための新国土のあり方や方向性を明らかにし、併せて戦略的なプロジェクトを提起したもの。

### 関西広域連携事業

関西2府6県と共同で、国際観光事業として東アジアを対象に関西の観光PR事業を実施。

### 太平洋新国土軸構想

太平洋新国土軸構想とは、東海から伊勢湾口、紀伊半島、紀淡海峡、四国、豊予海峡を経て九州に至る約800kmを、高速道路や高速鉄道で結び、これを基盤として新たな国土軸を

形成しようとするものであり、西日本国土軸との有機的な連携や地域間の交流を通じて西日本における広域経済文化圏の形成を目指すもの。この構想の実現により、多軸型国土が構築されて東京への一極集中の是正が図られることから、21世紀における日本全体の均衡ある発展を推進する構想と言える。また、紀伊半島や四国、九州中・南部を国土の基軸に位置付けることで、これら地域の半島性を解消して、その潜在能力を最大限に発揮することができる。そのほか、阪神・淡路大震災の時のように、現在の西日本国土軸が分断された場合にも太平洋新国土軸により代替ルートが確保されることとなり（リダンダンシーの確保）、国土の安全に大きく寄与することが期待されている。

#### 伊賀・甲賀広域連携事業

滋賀県の甲賀地域と三重県の伊賀地域は、互いに隣接し、地形的にも似通った地域である。このため、日常生活圏において交流が行われているほか、歴史的にも密接な関連がある。この両地域の更なる発展を目指して、平成13年度から甲賀地域振興局と三重県伊賀県民局が中心となり、県域を越えた広域連携事業を展開し、地域内外への情報発信や、地域間の交流を促進している。

#### 紀伊半島広域交流圏

自然資源、歴史文化資源に恵まれた紀伊半島地域を中部圏、近畿圏の両大都市圏をはじめとする都市生活者の癒しの場として、21世紀の新しいライフスタイルを実現する舞台として位置付け、滞在型の広域リゾート地域の形成や広域観光ルートづくりを進めて、活発な交流の行われる地域づくりを推進していく。また、地域内外の人々が豊かさを実感できる「紀伊半島快適環境圏」の形成を図り、半島地域における広域的課題に対応するため、三重・奈良・和歌山の3県で交流・連携事業に取り組む。

#### 九州観光戦略

九州地方知事会や九州・山口経済連合会（九経連）などでつくる九州地域戦略会議が「九州観光戦略」を正式決定した。観光振興を含む九州の一体的な振興は、過去何度も提唱されながら、県を超えた利害調整でつまづいてきた。だがここへきて、九州を取り巻く環境は大きく変わりつつある。高速交通や情報通信網の整備、東アジアの台頭などを受け、広域化や国際化への対応の必要性が高まってきた。特に観光分野は、個別の取り組みだけでは効果的な誘客が難しく、宿泊客数も伸び悩みが目立っている。決定した観光戦略は、九州観光について（1）行きたくなるイメージが希薄（2）海外や首都圏からの訪問希望が少ない（3）受け皿づくりが遅れている（4）一体的な振興体制がない—と弱点を指摘する。危機感を踏まえ、観光戦略は向こう三年間の短期とそれ以降の中長期に分け、計四十九の施策をまとめた。東京での「九州観光センター」設置、「九州遺産」の独自認定、外国人向けコールセンターの設置や案内標識類の多言語化、中国や韓国などと連携した「東アジア観光コンソーシアム（共同体）」など、多彩な内容が並ぶ。

【参考】JR各支店における交流状況

| イベント・キャンペーン名          | 主催/場所  | 期間                 | 概要  | 出典  |
|-----------------------|--|--------------------|---|---|
| 時代(とき)香る里、信越線         | JR東日本高崎支社・高崎行政事務所・安中榛名駅周辺地域観光振興協議会 / 群馬県西上州エリア | 2005<br>2/1～5/31   | 高崎 横川間沿線の観光地紹介を通じて、鉄道利用促進を図っていくのが目的。2002年(平成14年)から、地元自治体とタイアップして毎年行われている。   | 2005/02/09<br>交通新聞  |
| 地元の観光名所を巡るバスイベント      | JR東日本高崎支社・信越線沿線自治体 / 信越線の各駅                    | 2005<br>3/16～5/21  | 信越線沿線の自治体と協力し、地元の観光名所を巡るバスイベントを実施する。箕郷梅林や榛名梅林、秋間梅林を巡る「三大梅林と磯部温泉」などの七コースを用意。信越線の各駅を起点に、無料バスで各所を訪れる。  | 2005/01/28<br>日本経済新聞<br>地方経済面<br>(群馬)                       |
| 「めん街道 両毛線キャンペーン」      | JR東日本高崎支社・両毛線沿線自治体 / 両毛線沿線                     | 2004<br>12/26～3/31 | 「めん街道 両毛線」は、両毛線の利用促進と沿線・地域経済の活性化を狙いに1999年からスタート。沿線のめん店を小冊子などで紹介しながら、沿線自治体と一体となったハイキング・ウォーキングイベントなどを開催。管内ははじめ首都圏各地から多くの人が訪れている。  | 2005/01/13<br>交通新聞  |
| 「めん街道両毛線キャンペーン冬バージョン」 | JR東日本高崎支社・市の観光、公共施設 / 両毛線沿線                    | 2004<br>12/26～3/31 | 両毛線の開通115周年記念イベント「めん街道両毛線キャンペーン冬バージョン」を同線沿線で展開し、併せて同日、記念列車を運行する。イベントでは期間中、沿線の名物のそばやラーメンなどめん類のPRを中心に、市の観光施設「太平記念館」など各地の公共施設と連携して地元特産品が当たるスピードくじなどを実施する。                        | 2004/12/22<br>下野新聞  |
| 「両毛の麺大集合」             | JR東日本高崎支社 / 佐野駅前                               | 2004<br>6/12       | 佐野、館林、桐生、足利、太田市内のめん店で組織する「麺の里両毛五市の会」の協力を得て、ラーメン、うどん、やきそばなど多彩なめんを一堂に並べ、一杯五十円で  | 2004/06/08<br>交通新聞  |
| 「効能温泉吾妻線」キャンペーン       | JR東日本高崎支社・地元バス会社 / 草津・四万などの温泉地32カ所             | 2004<br>10/16～2/28 | 県や周辺市町村が企画している地元の体験型パスツアーと提携し、草津や四万などの名湯と魅力ある観光スポットをPRしていく。キャンペーンに合わせて、週末を中心に、新宿と万座・鹿沢口駅を結び快速「効能温泉吾妻  | 2004/10/16<br>上毛新聞  |
| 安中榛名ふるさとの祭り育樹イベント     | JR東日本 / 群馬県安中市・榛名町                             | 2004<br>9/18       | JR東日本が中心となって宅地分譲販売を行っている「びゅうヴェルジェ安中榛名」で「安中榛名ふるさとの祭り育樹イベント」が開かれた。  | 2004/09/28<br>交通新聞  |
| 夏のお年玉キャンペーン           | JR東日本高崎支社・横浜、八王子、大宮、千葉、水戸支社 / 総武線幕張、京葉線海浜幕張駅   | 2004<br>7/16～9/12  | 千葉、幕張で開催されている「夏のお年玉キャンペーン」を展開している。高崎支社はじめ横浜、八王子、大宮、千葉、水戸支社の協力を得て、主要駅にキャンペーン内容を紹介したパンフレット(夏のおおかけNE   | 2004/07/26<br>交通新聞  |
| 一村一山上越線キャンペーン         | JR東日本高崎支社 / 上越、吾妻沿線にある八つの名峰                    | 2004<br>7/1～9/30   | 夏の登山シーズンに合わせた「一村一山上越線キャンペーン」は、上越、吾妻線沿いの活性化などが目的で、今年で6回目。今回からは山の楽しさ、厳しさを知る達人と歩き、雑誌やガイドブックでは味わえない山の魅力をそんぶんに体験する。  | 2004/07/01<br>毎日新聞<br>2004/06/30<br>日本経済新聞<br>地方経済面<br>(群馬) |
| JR高崎線高崎駅開業百二十周年記念イベント | JR東日本高崎支社 / JR高崎駅                              | 2004<br>5/1        | JR高崎駅は開業120周年を迎え、これまでの歩みを振り返る記念イベントを行う。SLなどを一堂に集めた「列車大集合」のほか、記念入場券や鉄道部品、記念弁当の販売などがあり約一万人の出入を見込む。  | 2004/05/10<br>交通新聞<br>2004/04/19<br>東京読売新聞                  |
| 「ルミネtheよしもとin熊谷駅」     | JR東日本高崎支社 / 熊谷駅改札口前広場                          | 2004<br>4/15       | 「春休み湘南新宿ラインキャンペーン」の一環として、熊谷駅改札口前広場で、恒例となった「ルミネtheよしもとin熊谷駅」を開催した。高崎支社管内から新宿方面に直通する湘南新宿ラインの利用促進とルミネ新宿の常設劇場「ルミネ the よしもと」のPRを兼ねたイベント。   | 2004/04/21<br>交通新聞  |
| 上越新幹線本庄早稲田駅開業記念イベント   | JR東日本高崎支社 / 上越新幹線本庄早稲田駅                        | 2004<br>3/13       | 当日は6時10分ごろから、上りホームで初列車の出発式などを開催する。8時すぎからは、同駅北口駅前広場で本庄市、美里町、児玉町など七市町村関係者によるオープニングセレモニー。  | 2004/02/18<br>交通新聞  |
| 水戸の梅まつり               | JR東日本水戸支社・水戸観光協会 / 偕楽園(水戸市)                    | 2005<br>2/1～5/31   | 春の穏やかな陽光をいっぱいを受けて、今年も水戸偕楽園の「梅まつり」が20日から開幕した。JR東日本水戸支社では21日から、最寄りの常盤線偕楽園駅を臨時開設。首都圏方面からの利便を図っている。また、水戸支社では昨年に続き「駅からハイキング」を企画。3月13・14日の両日には、千葉支社と共同で臨時快速(お座敷列車・観梅号)を両国 水戸間に運転する。 | 2005/02/15<br>朝日新聞<br>2004/02/24<br>交通新聞                    |

第4章  
5県の広域連携

| イベント・キャンペーン名                |   | 期間                            | 概要  | 出典  |
|-----------------------------|---|-------------------------------|---|---|
| 常磐線沿線の“食”をテーマにした冬の浜通りキャンペーン | JR東日本水戸支社 / 茨城県北部から福島県にかけての太平洋側(浜通り方面)  | 2004<br>12/18～2/27            | 茨城県北部から福島県にかけての太平洋側(浜通り方面)でカニやアンコウ、メヒカリなど旬の味覚が多いことから、地元の名産品などに合わせて臨時列車を設定するとともに、お得な旅行商品やフリーきっぷも発売し、地域と連携して沿線の活性化を図る。  | 2004/11/20<br>茨城新聞<br>2004/12/17<br>交通新聞                                      |
| 全線開通七十周年を迎えるJR水郡線の記念キャンペーン  | JR東日本水戸支社・グリーンふるさと振興機構(常陸太田市) / JR水郡線水戸駅～常陸大子駅                                    | 2004<br>11/30～1/30            | JR水郡線が全線開通から今年で70周年を迎えることから、JR東日本水戸支社は沿線の市町村などとタイアップし、「常陸秋そばの里・興久慈をゆく」と題した記念キャンペーンを行う。期間中、旧型車両による臨時列車の運行やそば店開設など多彩なイベントを繰り広げる。水郡線は近年、少子化の影響などで利用客の減少が続いており、キャンペーンを通して、観光活性化と集客力アップを目指す。 | 2004/11/06<br>日本経済新聞<br>地方経済面(茨城)<br>2004/09/17<br>交通新聞<br>2004/09/16<br>茨城新聞 |
| あじさいまつり                     | JR東日本水戸支社 / 保和苑(水戸市)  | 2004<br>6/26                  | 水戸市の保和苑で開催される「あじさいまつり」に合わせて6月26日、JR常磐線の借来園臨時駅を一日のみ開設する。あじさいまつりでの臨時駅開設は初めて。この日は水戸支社と水戸市がタイアップして開催するイベント「駅からハイキング」を実施するため、スタート地点として   | 2004/05/26<br>茨城新聞  |
| 上諏訪駅さわやかキャンペーン              | JR東日本水戸支社(地元高校教諭、鉄道警察隊) / 管内全駅・線区   | 2004<br>4/6～4/30              | JR東日本水戸支社は4月6日から「春のさわやか利用キャンペーン」を実施する。高校などの新学期開始に合わせ、列車通学が不慣れな生徒に乗車マナーや駅利用に関する協力を求めていく。実施エリアは管内全駅・線区。高校生の多い駅・線区では地元高校教諭、鉄道警察隊の協力を得て、車両添乗なども行う。  | 2004/03/26<br>交通新聞  |
| 「SLばんえつ物語号」運転計画             | JR東日本新潟支社 / 新潟～会津若松間  | 4/2から12/25までの土曜日、休日を中心とした84日間 | JR東日本新潟支社は今年の「SLばんえつ物語号」の運転計画を発表した。今年は7-9月に「福島県あいづ鉄道フェスティバル」が開催されることもあり、同支社ではSL運転に合わせた多彩なイベントを計画している。「SLばんえつ物語号」は一九九九年(平成十一年)四月から運転されており、昨年十二月末までに約三十五                                  | 2005/02/02<br>交通新聞  |
| 「がんばってます!! にいがた」キャンペーン      | JR東日本・大手旅行エージェンツ(JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、東急観光、阪急交通社、クラブツーリズム)・地元自治体・観光協会 / 上越新幹線東京～新潟間 | 2004<br>12/28～3/31            | 新潟県中越地震の影響で減少している県内観光客を呼び戻し、地域経済を復興させようと、JR東日本、大手旅行エージェンツ、地元自治体・観光協会など、官民一体による「「がんばってます!! にいがた」キャンペーン」が展開される。   | 2004/12/21<br>交通新聞  |
| 弥彦線弥彦駅開業八十八周年記念イベント         | JR東日本新潟支社 / 弥彦線弥彦駅  | 2004<br>10/16                 | これまでの利用に謝意を表するのが目的で、同日は駅利用者にポストカードをプレゼントしたほか、10月下旬から開催される弥彦菊祭り(新潟県菊花展覧会)の案内パンフレットも配布した。   | 2004/10/25<br>交通新聞  |
| SL クリスマストレイン2004            | JR東日本新潟支社 / 新潟～会津若松間  | 2004<br>12/23～25の3日間          | クリスマスSLを運転するのは今年が六回目。今年はヘッドマークをクリスマス用に柘(ひいらぎ)で飾る。車内もツリーなどで装飾、電子オルガン演奏や抽選会で雰囲気盛り上げる。   | 2004/10/22<br>日本経済新聞<br>地方経済面(新潟)   |
| 羽越線に32年ぶりのSL                | JR東日本新潟支社 / JR羽越線酒田～村上駅間  | 2004<br>9/25～26の2日間           | JR羽越線では9月25、26の両日、酒田 村上駅間で蒸気機関車がけん引する「SL出羽街道号」が往復運転される。日本海沿いの羽越線でSLが運転されるのは三十二年ぶり、運行するJR新潟支社は「SLで、美しい庄内平野や日本海を楽しんで欲しい」と話している。   | 2004/06/23<br>東京読売新聞  |
| 新潟駅開業百周年記念「駅からハイキング」        | JR東日本新潟支社・新潟日報社 / 新潟市内  | 2004<br>4/24                  | JR東日本新潟支社は新潟駅開業百周年記念の「駅からハイキング」を新潟市内で開催。過去最高の約1500人が参加した。食・花・文化・歴史・自然など、魅力いっぱいの新潟市内を気軽に歩きながら楽しんでもらうのが狙い。募集人員は500人だったが、「まち歩きイベント」を毎年実施している地元・新潟日報社の協力を得たことで、約3倍                          | 2004/05/07<br>交通新聞  |
| JR新潟駅開業百周年を祝う記念イベント         | JR東日本新潟支社 / 新潟駅東側自由通路・新潟～直江津駅間  | 2004<br>5/2～5の4日間             | JR新潟駅の開業百周年を祝う記念イベントが5月2～5日、同駅東側自由通路などで開かれ、3日には、新潟直江津間に電気機関車重連による特別列車も運転される。また、新潟駅東側自由通路では「新潟駅100年の歴史展」、3日には伝統芸能やフリーマーケット、ペーパークラフト工作教室を目玉にした「新潟駅まつり」を開催。                                | 2004/04/16<br>交通新聞  |